

平成17年2月4日  
原子力安全対策課  
(16-112)  
<14時30分記者発表>

美浜発電所1号機の原子炉手動停止について  
(湿分分離加熱器加熱蒸気室ドレン抜き栓からの漏えい)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所1号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力34.0万kW)は、定格熱出力一定運転中のところ、本日11時50分頃、巡回点検中の運転員が、タービン建屋1階の床面に水たまりを発見するとともに、上方から水が滴下していることを確認した。

その後、同建屋2階の滴下場所上方にあたる付近を点検した結果、1A湿分分離加熱器\*の保温部継ぎ目付近から、水が滴下(約5秒に1滴程度)していることを発見するとともに、加熱蒸気室ドレン抜き栓からの漏えいであることが確認された。

このため、本日13時30分から出力降下を開始し、同日22時頃に原子炉を停止し、当該箇所の点検を行うこととした。

なお、運転パラメータ等に変化はなく、環境への放射能の影響はない。

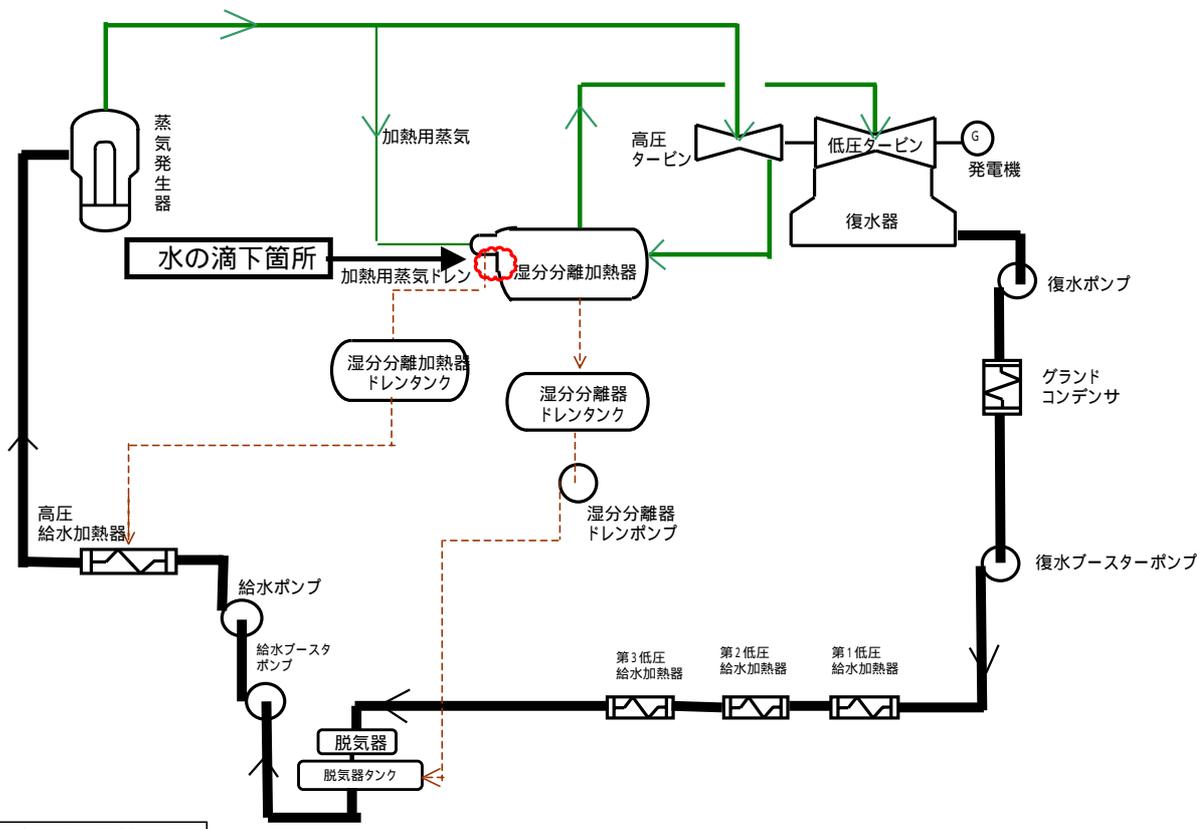
\* : 湿分分離加熱器

高圧タービンで仕事をした蒸気に含まれる湿分を取り除くとともに、高圧タービンの手前で取り出した主蒸気により再び加熱する。

問い合わせ先(担当:伊藤)  
内線2352・直通0776(20)0314

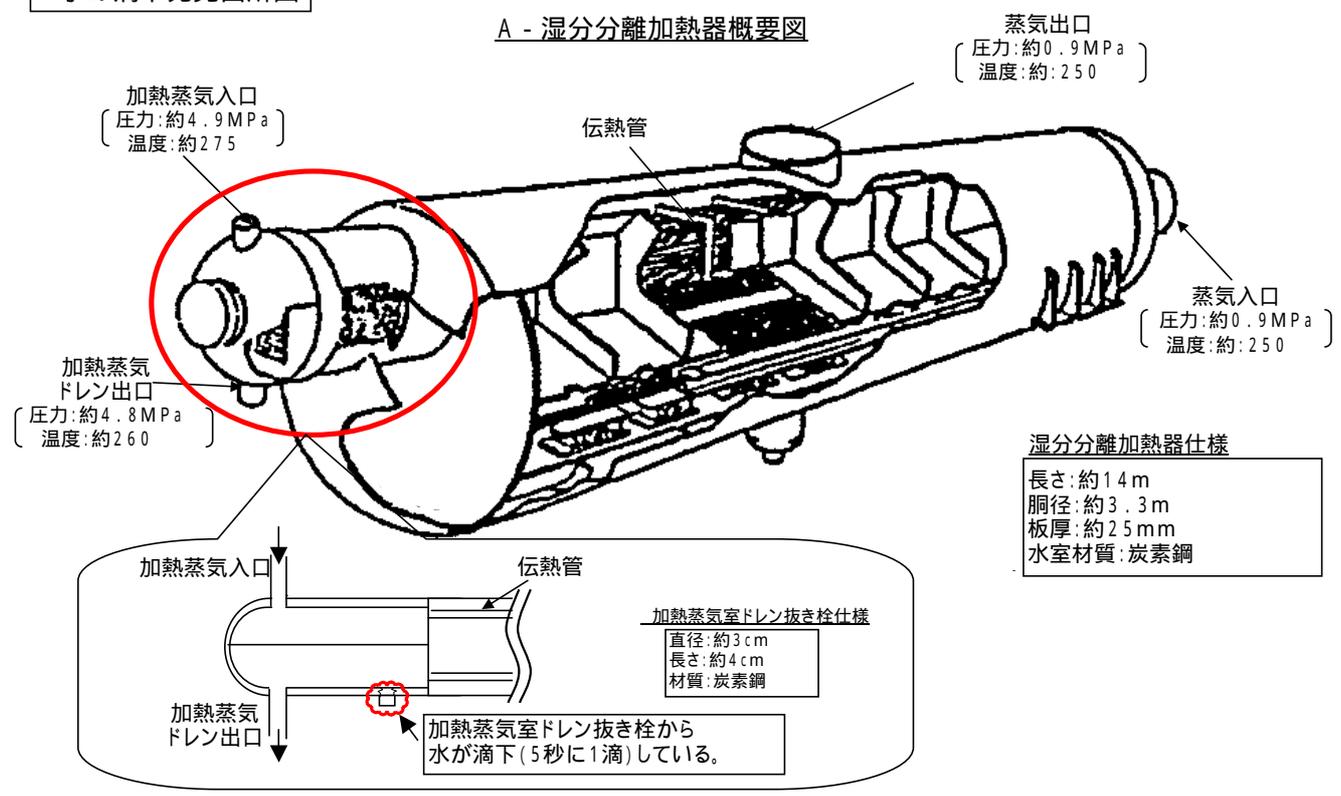
# 美浜発電所1号機の湿分分離加熱器加熱蒸気室ドレン抜き栓からの水の滴下について

系統別概略図



水の滴下発見箇所図

A - 湿分分離加熱器概要図



**湿分分離加熱器仕様**  
 長さ: 約14 m  
 胴径: 約3.3 m  
 板厚: 約2.5 mm  
 水室材質: 炭素鋼